

令和6年度 「猿留山道を歩く会」 実施要項

1. 実施内容：

猿留山道は1799年（江戸時代）に江戸幕府が開削した、北海道で最も古い官製道路のひとつです。開削の際にはアイヌ民族の案内があったといわれ、アイヌ民族の手を借りながら共に山道を進む様子を描いた絵も残されています。

2002年から10年間継続された猿留山道復元ボランティア事業により、江戸の頃より変わらぬ姿で残っている山道部分が歩行できるようになりました。往時の面影をしのびながら町の歴史を学びつつ、青葉の繁る初夏の山道を約6km歩きます。

2. 主 催 ：えりも町教育委員会

3. 後 援 ：えりも町

4. 協 力 ：えりも町郷土資料館 N 4 2 ° の会

5. 開 催 日 ：令和6年5月25日（土）

6. 参加対象者：

6 km の山道を自己責任で歩ききる自信のある健康な方。

※小学3年生以下の参加には保護者の同伴が必要（保護者も有料）。

7. 参加費：200円（保険料）

8. 一般募集：20名（先着順）

9. 行 程 ：※広域林道～342m地点～沼見峠～猿留山道橋の約6km

※天候や状況により、予告なくコース・行程を変更することがあります。

7:30 えりも町郷土資料館に集合 11:30 沼見峠を出発
受付

7:45 えりも町郷土資料館をバスで 13:10 ワラビタイ沢で猿留山道から出
出発 る

8:10 広域林道に到着 13:30 猿留山道橋に到着

9:15 342m地点から猿留山道に入る 13:40 バスでアンケートを実施・出発

11:00 沼見峠に到着・昼食 14:40 えりも町郷土資料館に到着

10. 申込み：①Google フォームよりオンライン申込み
(<https://forms.gle/dtC45oymiGQNVSKj7>) →
②郷土資料館へ電話で申込み
(TEL：01466-2-2410 (火曜日休館))



11. 持ち物：

はきなれた底の硬い靴、長靴（沢を渡る場所が数か所あります）、厚手の靴下、
長袖の服、帽子、防寒具、雨具、軍手、昼食、飲み物、非常食（お菓子など）

※あると便利なもの：虫よけスプレー（マダニに効果のあるもの）、熊鈴

※風が強いと体温が低下しますので、防寒具を必ずご用意ください。

12. 天候判断について

悪天候時には、遅くとも当日5月25日（土）午前6時までに決定します。



猿留山道を歩く様子



猿留山道沼見峠にある江戸時代の妙見神と馬頭観世音菩薩